

Windom の解答速報 愛知医大 英語

I

- 1 ③
- 2 ②
- 3 ①
- 4 ①
- 5 ④
- 6 ④
- 7 ④
- 8 ②
- 9 ③
- 10 ③

II

- 11 ③
- 12 ③
- 13 ②
- 14 ⑤
- 15 ④

III

- 16 ①
- 17 ②
- 18 ③
- 19 ③
- 20 ②
- 21 ①
- 22 ③
- 23 ③
- 24 ②
- 25 ③

IV

- 26 ④
- 27 ②
- 28 ④
- 29 ⑥
- 30 ⑦
- 31 ⑤
- 32 ①

記述 A w a s t e

V

- 33 ⑤
- 34 ②
- 35 ①
- 36 ③

37

③

記述 B 筆者が話しかけた、郵便局職員の髪

記述 C p r i c e l e s s

VI

38 ④

39 ⑤

40 ①

41 ⑤

42 ③

43 ②

44 ③

記述 D positive

記述 E it not been

VI

記述 F square

記述 G stick

記述 H if

VIII

45 ⑦

46 ②

47 ①

48 ③

49 ①

50 ④

51 ⑦

52 ⑥

53 ②

講評

I

語法・文法・語彙に関する四択問題は、標準的なものばかりである。特に 1 番や 2 番、10 番の文全体の構造を把握した上で接続詞や分詞構文を選択する問題は、WINDOM の冬の直前講習でも徹底演習したものである。大問 I では全問正解か、1 問ミス程度にとどめておきたい。

II

正誤判定問題は、昨年に引き続き「誤り無し」もあり得る設問なので、受験者にはやや解きづらい印象を与えたかもしれない。しかし、例えば WINDOM では平常授業でも直前講習でも繰り返し確認をした 15 番の get + 目的語 + 補語の C にくるべき動詞の形など、定番問題が多く、全問正解かそれに近い正答率が望まれる。

Ⅲ～Ⅵ

読解問題も、去年と同様、長文中の空所補充が設問のほとんどを占めている。少なからぬ受験者がこの形式の出題に苦手意識を抱いている現状を考慮して、WINDOM では平常授業においても冬期講習においても、並々ならぬ量の類問演習を行ってきた。しかし、演習の量が十分でなかった受験者には、大問数の多さもあいまって、手ごわいと感じられたかもしれない。ただ、英文自体はいずれも標準かやや上のレベルであるため、読解セクションでは70%は得点したい。

以下に、整序問題(大問Ⅳおよび大問Ⅵ)の完成英文を記す。

大問Ⅳ once a world language is in place

大問Ⅵ … most burn out is *nothing more than a bad mood taken* too seriously

Ⅶ

3問中、F と G とは答えられることが望まれるが、それでもやや思いつきづらいことはたしかであろう。Hは、little if any ~「たとえあるにせよ、ほとんどない」が頭に浮かんだかどうかは鍵であろうが、実際は容易ではなかったのではないか。

Ⅷ

語句整序は、標準からやや難というレベルであろう。2番目の、前置詞+関係代名詞+to 不定詞の形は WINDOM の冬の講習会でも取り上げた重要文法事項である。以下に、完成英文を記す。

1番目 He is just *the right height to be a policeman*.

2番目 We moved to the country so that *the children would have a garden in which to play*.

3番目 One of the things too *often missing from our days is a good laugh*.

全体的に難易度の高低が極端なもの無く、無理の無いレベルの問題である。Windomは正規合格には80%の正答率が必要と見る。